

立川談春 プロフィール



1966年6月27日 東京に生まれる。本名、佐々木信行。少年時代の夢ははじめ競艇選手であった。

17歳の1984年3月、立川談志に入門。前座名として談春を名乗る。新聞配達をしながら生計を立て、談志のもとで修業。1988年3月3日に22歳で二つ目となる。90年代には同門の志らくらと“立川ボーイズ”を結成、メディアにも出演するようになる。

1997年9月20日に31歳で真打ちに昇進し、同年林家彦六賞を受賞した。古典落語に専念し、2003年には平成14年度彩の国拾年百日亭若手落語家競演シリーズ大賞を、翌年には平成15年度国立演芸場花形演芸会大賞を受賞した。

芸歴40周年にあたる2024年には、東京の有楽町朝日ホールで1月より10カ月連続計20公演、40演目の“ベスト盤”を披露する。大阪では森ノ宮ピロティホールに於いてこちらも10カ月連続公演を行う。また全国において、「これから」と題する40周年記念興業を行った。

談春が重視するのは、独演会におけるライブ感と落語が実際に観客に伝わることである。古典落語は江戸時代から昭和期までを舞台にする噺だが、時代が違ってもそこには人間不変の本質が宿っている。試行錯誤を繰り返して、常にもっと「うまくなること」を目指していると語る。年末恒例の「芝浜」公演にあたっては、2022年に従来の芝浜の展開を大胆に変え、「今までの芝浜、これからの芝浜」と題して女性である主人公の女房に着目した語りを生み出した。

談春は俳優としても活動の場を広げ、ドラマでは『ルーズヴェルト・ゲーム』(TBS)坂東昌彦役や、『下町ロケット』(TBS)殿村直弘役、『天才を育てた女房』(読売テレビ)木下雅則役、『どうする家康』(NHK大河ドラマ)佐久間信盛役として出演した。出演した映画には、『忍びの国』(2017年東宝、百地三太夫役)、『あいあい傘』(2018年SDP、東雲六郎役)『七つの会議』(2019年、江木恒彦役)、『八犬伝』(2024年、鶴屋南北役)などがある。

好きなことは、ゴルフ、散歩。季節の花や月をみることに。アパートに迷い込んできた猫を長らく飼っていたことがある愛猫家でもある。出囃子は「鞍馬」。

履歴

1984年3月 立川談志に入門
1988年3月3日 二つ目昇進
1997年9月20日 真打ちに昇進

受賞歴

1997年 林家彦六賞受賞
2003年 平成14年度彩の国拾年百日若手落語家競演シリーズ大賞受賞
2004年 平成15年度国立演芸場花形演芸会大賞受賞
2008年 『赤めだか』にて第24回講談社エッセイ賞受賞
2025年 令和6年度(第75回)芸術選奨文部科学大臣賞「大衆芸能部門」受賞

【お問合せ】



ふじみ野
ステラ・ウェスト
Fujimino Stella West

〒356-0058 埼玉県ふじみ野市大井中央二丁目 1-8

TEL 049-261-0648

MAIL stella-west@f-bunka.jp

URL <https://f-bunka.jp/stella-west/>



【公共交通機関でお越しの場合】

- ・ふじみ野駅「西口」より徒歩 24 分
- ・市内循環ワゴンC・D・Eコース、「大井総合支所」バス停より徒歩 2 分
- ・ふじみ野駅「西口」より東武バス「大井循環」乗車約 15 分、「大井総合支所前」バス停より徒歩 2 分
- ・ふじみ野駅「西口」より東武バス「上福岡駅東口行き」乗車約 10 分、「文京学院大学前」バス停より徒歩 7 分
- ・上福岡駅「西口」より東武バス「大井総合支所前行き」乗車約 10 分、「大井総合支所前」バス停より徒歩 2 分



お車で来館の際は、近隣の店舗などに駐車しないでください。当日はステラ・ウェスト敷地内の駐車場は混み合うことが予想されます。ステラ・ウェスト第2駐車場をご利用ください。駐車場は無料で利用できますが、駐車場台数に限りがありますので、徒歩や自転車、公共交通機関の利用等にご協力をお願いします。